

POSA 事業報告

Project
Operation
Sight for
All

No. 21

●平成 29 年度



術後の患者さんからのお礼のメッセージ

ALL THAT IS NOT SHARED IS LOST

POSA 目次

理事長より

『清く 正しく 美しく（抜粋） 玉置浩二』

POSA 理事長 医療法人 輝秀会 くらとみ眼科医院 理事長 倉富 彰秀・・・P1

副理事長より

『日本からのアイキャンプ参加時期の見極め』

POSA 副理事長 医療法人 菊池眼科 理事長 井上 望・・・P2

国際エンゼル協会より

『白内障の悩みから解消された農村の人たちの喜びを実際に』

バングラデシュ事務所 所長 前田 泰宏・・・P3

『続いてる Eye Camp』

国際エンゼル協会 バングラデシュ責任者 アジズル・バリ・・・P4

ライオンズクラブより

『人と未来をつなぐ奉仕』と佐賀の『もやい文化』

2017 年度 神埼ライオンズクラブ会長 吉原 俊樹・・・P5

平成 29 年度事業報告及び 30 年度事業計画

ふるさと納税による POSA への寄付と年会費・入会金納入のお願い・・・P6

平成 29 年度事業報告・・・P9

平成 30 年度事業計画・・・P10

ご支援頂いた方の一覧表・・・P11

POSA 理事・監事・POSA 会員名簿・POSA 規約（一部抜粋）・入会のお願い・・・P12

ALL THAT IS NOT SHARED IS LOST

『清く 正しく 美しく（抜粋） 玉置浩二』

POSA 理事長 医療法人 輝秀会 くらとみ眼科医院 理事長
倉富 彰秀

悲しい時は空を見て、誰も悪くないと言おう
淋しい時は海に来て、もう自分を責めなくていいと言おう
うれしい時は風になり、麦を鳴らしてたたえよう
やさしい時は「あの人」に、「ゴメンネ」「ありがとう」と言おう

悪いものなんてない 悪いものなんてない
この世にあるものはいいものばかりに決まってる
胸を張れ高らかに 希望の光を見たはずだ
清く 正しく 美しく
清く 正しく 美しく

「清く 正しく 美しく」生きれたらカッコいいなと思う。
だかしかし、
「清くはない、正しくないかもしれない、美しくもない、ついでに髪の毛もない。」
と思ふ今日この頃。



現地眼科医による術前の診察

ALL THAT IS NOT SHARED IS LOST

『日本からのアイキャンプ参加時期の見極め』

POSA 副理事長 医療法人 菊池眼科 理事長
井上 望

POSA によるバングラデシュでの失明予防活動は今年で 17 年になります。2016 年 7 月 ISIL (Islamic State in Iraq and the Levant) による外国人襲撃事件で日本人 8 名が死傷したテロ事件以降、POSA としては安全対策を優先して日本人の派遣を見合わせてきました。

本年度も日本人は行きませんでした。昨年引き続き皆様方からのご寄付で現地ライオンズクラブの病院で手術を依頼、例年通りの手術件数を継続する事ができました。これも POSA を援助してくださるライオンズクラブの方々、POSA 会員や一般の皆様方からのご支援によるものです。本当に有難うございます。

ところで今後の活動見通しについてお知らせ致します。2017 年 10 月には ISIL の活動拠点である首都ラッカがシリアの反体制派シリア民主軍によって完全制圧され、ほぼ壊滅されたと報道されています。あ

の不幸な事件から約 2 年経過、以後バングラデシュでは ISIL によるテロは発生していません。現地でお世話になっている国際エンゼル協会の方々から「もうそんなにテロは心配されなくても良いのではないのでしょうか。すっかり以前と同じ日常を取り戻しています。」とのご意見を頂いています。諸外国はバングラデシュでの経済活動や NGO 活動を再開していますが日本だけ動きが鈍いため、現地では日本人に対しての不信感が芽生えているとの新聞記事を読みました。2017 年にダッカ都市鉄道を 4 千億円で受注した川崎重工・三菱商事も今年初めから段階的に人員派遣や工事を再開している様です。POSA としてもそろそろ日本人が参加していた以前の形態に戻しても良いのかもしれません。今後様々な状況を見て、また多方面からの意見も参考に慎重に判断したいと思います。その節は皆様のご参加をお待ちしています。



手術後の患者さん

ALL THAT IS NOT SHARED IS LOST

『白内障の悩みから解消された農村の人たちの喜びを実際に』

バングラデシュ事務所 所長

前田 泰宏

今年も残念ながら日本から眼科医師がバングラデシュを訪問してということが出来ませんでした。それでも今年もまた昨年に続き白内障で苦しんでいるバングラデシュの人たちのために、ダッカ・ライオンズクラブ眼科病院に依頼して白内障手術を経済的に支援してくれました。

そして白内障の手術を受けたバングラデシュの人たちは POSA の皆さんの支援に大変感謝しており、ぜ

ひぜひバングラデシュに来て私たちの目が白内障で苦しまなくて良くなった姿を見て下さいと言って農村に帰って行きました。

様々な事情から昨今 POSA アイキャンプのバングラデシュでの実施が困難であるとは思いますが、ぜひ現地の皆さんの喜びを実際に感じながら白内障手術を行って欲しいと願っています。



現地眼科医による術前の診察

ALL THAT IS NOT SHARED IS LOST

『続いてる Eye Camp』

国際エンゼル協会 バングラデシュ責任者
アジズル・バリ

The Lanset Global Health 雑誌によると世界で見えない人々は現在 36,000,000 人です。2050 年には 3 倍ぐらい増えて 115,000,000 人になります。見えない人々のおもな人口は Asia と Africa に住んでいます。とても心配なことです。

POSA のおかげで私たちバングラデシュの人々を助けていただいていることはとてもありがたいです。
今年の 2 月 Bangladesh Lions Foundation Hospital

で POSA と Lions Club of Dhaka Central 315 B2 の協力で 82 人の手術することができました。また 2017 年 8 月 12 日に POSA からいただいた IOL Lens 200 枚を BLF Hospital に渡しました。それは病院に来る困っている患者さんに使えます。

長く続いている POSA のみなさんのご協力心から感謝しております。これからもよろしくお願いします。

Md. Azizul Bari
Executive Director
International Angel Association
Konabari, Gazipur
Bangladesh



術後の患者さん（手前右から 1 人目がバリさん）

ALL THAT IS NOT SHARED IS LOST

『人と未来をつなぐ奉仕』と佐賀の『もやい文明』

2017 年度 神埼ライオンズクラブ会長

吉原 俊樹

お陰様で神埼ライオンズクラブは 50 周年を迎えました。1967 年 9 月 3 日結成以来、半世紀にわたり、地域と一体となった活動を基本に、時のニーズと流れに伴った様々なアクティビティを取り組んできました。その中でも、24 年間にもわたり継続しているアイキャンプは名実ともに代表的な神埼ライオンズクラブアクティビティです。倉富理事長をはじめ、POSA メンバーの方々、ホストであるエンゼル協会、セントラルライオンズクラブの皆様方のたゆまぬ継続精進に対し、あらためて心からの感謝と敬意を申し上げます。

50 周年を迎え、神埼ライオンズクラブでは「人と未来をつなぐ奉仕」の会長提言を掲げました。人をつなぐ（仲間づくり）はいつの時代でも大切なキーワードであり、友愛と相互理解には人と人がしっかりとつながりあう事が前提です。まさしく、未来につなぐ

には醸成されたアイキャンプや様々なライオンズクラブアクティビティを継続してつなぎ続ける事が大切と考えます。近年、人と人のつながりが希薄になり、地域社会維持が危惧されて久しくなります。佐賀には古くより「もやい」という互いに助け合い・すべてを分かち合う意味の言葉（方言）があります。子ども達へ食物を「仲良くおもやいして食べなさい」や、かつての集落などで皆入る「もやい風呂」など、生活の中での人々が支えあう佐賀の誇れる「もやい文化」です。最近、私どもの奉仕（支援活動）の基本はここにあるように思えてなりません。豊かな自然や歴史文化を共有「もやう」して大切にすることも様々な立場や多種多様な団体（人のつながり）の協働活動にも通じるものがあります。人と人の出会いやつながり、万物の分かち合いに感謝と誇りを持ち、その喜びを感じながら、つないで行きたいものです。



村々からライオンズ病院への送迎

ALL THAT IS NOT SHARED IS LOST

「ふるさと納税による POSA への寄付と年会費・入会金納入のお願い」

平素より POSA 活動のご理解ご協力有難うございます。

ご存知の様に POSA は皆様方の寄付金や年会費により活動しています。

この度、**POSA が佐賀県**のふるさと納税の対象団体として指定されました。つきましては佐賀県のふるさと納税制度を利用しての POSA へのご寄付やお支払いが可能となりましたのでお知らせいたします。

※佐賀県在住の方でも寄付は可能です。

☆1. ふるさと納税は※寄付金控除の対象となります。

※寄付金控除とは納税者が国や地方公共団体等に寄付をすると受けられる所得控除と税額控除のことです。

※総所得の 40% までの寄付金が所得控除となります。

☆2. さらに住民税の 2 割までの寄付額については、有利な条件で控除を受けることが出来ます。

※ふるさと納税寄付金の 2,000 円を超える金額すべてが翌年の住民税から減免されます。

※確定申告もしくは「ワンストップ特例制度」の申請が必要となります。

ふるさと納税で **POSA** を指定してご寄付頂いた場合は、ふるさと納税 1 万円につきバン格拉デシュの特産品であるノクシカタ（バン格拉デシュの民芸 象をデザインした小物やバッグが人気）又は、バン格拉デシュの本牛皮で作成したペンケース、キーケースのどれかを 1 個進呈致します。

例）3 万円のふるさと納税で **POSA** を指定して寄付をして頂いた場合：3 個を進呈致します。

このノクシカタという特産品はバン格拉デシュの伝統刺繍で、現地の女性の収入源にもなり、現地協力団体である国際エンゼル協会の子供たちの学費にも充てられます。また **POSA** にふるさと納税として頂いた寄付金はアイキャンピングにて現地の白内障手術の為の経費に充てられます。収支は **POSA** のホームページでも公開し経理の透明性を保っております。

「ワンストップ特例制度」平成 27 年 4 月 1 日から適用。

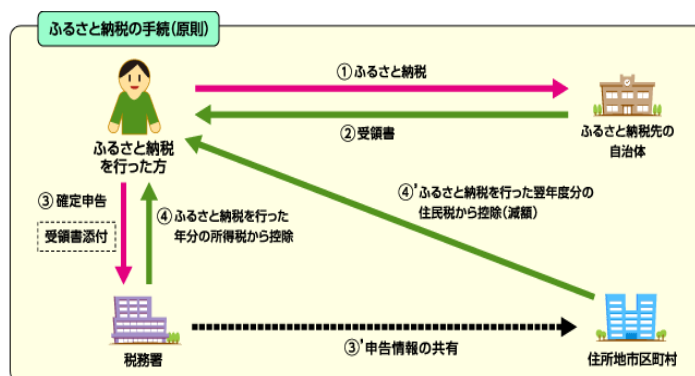
寄付する際に申請書を要望すると送られてくる申告特例申請書に記入して返送するだけで自動的に「翌年の住民税」が控除され、確定申告が不要になる制度です。

「ワンストップ特例制度」の対象

○ 寄付先の自治体が 1 年間に 5 箇所以内の方。

○ 寄付を行った年の所得について確定申告が不要なサラリーマンの方など。

（自営業者や高所得者、株式投資や医療費控除等で確定申告をされる方は適用外となりますのでそれらの申告同様に、ふるさと納税についても確定申告をされて下さい。）



ALL THAT IS NOT SHARED IS LOST

「ふるさと納税での POSA へのご寄付の方法」

○クレジット決済・郵便振替ご希望の方

1. G o o g l e などのインターネットで「ふるさとチョイス」を検索
2. 「ふるさとチョイス」のホームページをクリック
3. 「自治体でさがす」をクリック
4. 九州地方「佐賀県」をクリック
5. 佐賀県の自治体一覧の「**佐賀県 NPO 支援ページはこちら**」をクリック
6. NPO 支援の全てのお礼品のなかから「ノクシカタ」「バングラデシュの牛革製品丸型ペンケース」「バングラデシュの牛革製品角型ペンケース」「キーケース」の中でご希望される POSA のお礼品をクリック
7. 「寄付するリストに追加」をクリック
8. 「この自治体の申し込みへ進む」をクリック
9. 「必要情報の入力へ進む」をクリック
10. 寄付者情報に必要事項を記入
11. 「オプション設定へ進む」をクリック
12. 申し込みオプションの設定に必要事項を記入。

ワンストップ特例制度をご利用の方は、申告特例申請書が送られて来ますのでご記入の上、必ずご返送下さい。

13. 「確認へ進む」をクリックし、入力内容を確認する
14. 申し込み確認事項を読んでいただき問題がなければ、「上記に同意する」にチェック
15. 「申し込みを確定する」をクリック →完了

POSA 会員にご入会頂いた皆様は、今後は入会金（10,000 円）や年会費（10,000 円）の納入もふるさと納税制度を利用されますと個人の自己負担は少なくなります。

入会金や年会費納入の場合は・・・その他 佐賀県へのメッセージの欄に {寄付金、入会金、寄付金} のうち該当するものをご入力下さい。（複数可） 例：寄付金 30,000 円、年会費 10,000 円

○クレジット決済・郵便振替以外をご希望の方

1. G o o g l e などのインターネットで「ふるさと佐賀県応援サイト」を検索
2. 「佐賀県：ふるさと佐賀県応援サイト」のホームページをクリック
3. ふるさと納税を通じた NPO 等の支援についての「ふるさと納税（NPO 等の支援）のお手続き」をクリック
4. 金融機関・コンビニエンスストア・郵便局窓口等で振り込みを希望される方の「金融機関・コンビニエンスストア・郵便局窓口お申込みフォーム」をクリック
5. 必要事項を記入
6. 「入力内容を確認」をクリック
7. 「送信する」をクリック →完了

ALL THAT IS NOT SHARED IS LOST

「お礼品」

①ノクシカタ

↓ A: 縦 22.5cm × 横 33cm
(持ち手を除くサイズ)



↑ B: 縦 12cm × 横 24cm
(持ち手を除くサイズ)

②丸型ペンケース (ライトブルー・ネイビー・レッドの3色)

↓: 縦 5cm × 横 17.5cm × 幅 5.5cm



③角型ペンケース (ライトブルーのみ)

↓: 縦 5cm × 横 18cm × 幅 3.5cm



④キーケース (ブラック・レッドの2色)

↓: 縦 10cm × 横 18cm



ALL THAT IS NOT SHARED IS LOST

平成 29 年度事業報告

バングラデシュ眼科診察及びスクリーニングアイキャンプの実施

実施期間：平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

実施場所：バングラデシュ国インターナショナルエンゼルス協会（IAA）本部クリニック施設にて

派遣員：現地眼科医及び現地スタッフ

現地眼科医及び現地スタッフによるバングラデシュアイキャンプの実施

実施期間：平成 30 年 3 月 6 日から 3 月 10 日まで

実施場所：ダッカ市内のライオンズ眼科病院

派遣員：現地眼科医及び現地スタッフ

活動内容：現地の眼科疾患の症例及び 470 名の患者さんを対象としたスクリーニングアイキャンプ及び 82 名の白内障手術を実施。

国内啓発活動：バングラデシュアイキャンプへの寄贈品、募金

バングラデシュの現状についての啓発活動



スクリーニングを待つ人たち

ALL THAT IS NOT SHARED IS LOST

平成 30 年度事業計画

2018 年度も安全面を考慮した結果、日本人が主体のアイキャンプは控えるべきと判断しました。今年もダッカ市内のライオンズ眼科病院にて現地眼科医及び現地スタッフによる白内障手術 50 眼を予定しています。

バングラデシュ眼科診察及びスクリーニングアイキャンプの実施

実施期間：平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

実施場所：バングラデシュ国インターナショナルエンゼルアソシエーション（IAA）本部クリニック施設にて

派遣員：現地眼科医及び現地スタッフ

現地眼科医及び現地スタッフによるバングラデシュアイキャンプの実施

実施期間：平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

実施場所：ダッカ市内のライオンズ眼科病院

派遣員：現地眼科医及び現地スタッフ



手術後の患者さん

ALL THAT IS NOT SHARED IS LOST

暖かいご支援ありがとうございました。

敬称は省略させていただきます。(順不同)

紙面の都合上、掲載されていない方もおられます。ご了承ください。

————— 平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 —————

【寄付者】

吉田 幸代 沼田 公子 神代 和代 坂本 紀久恵 若山 久恵 照屋 武 伊崎 祐介
瀧本 峰洋 小森 啓範 井上 望 井上 麻記 持永 奈諸美 井上 多絵 末永 正子
後藤 誠 狩野 順子 仁木 弥生 松本 いく子 世戸 憲男 菊池眼科患者様御一同
くらとみ眼科医院患者様御一同

【眼鏡】

国際ソロプチミスト協会 久留米 日本眼鏡リサイクルセンター



現地眼科医による術前の診察

ALL THAT IS NOT SHARED IS LOST

POSA 理事・監事名簿

理 事 長	倉富 彰秀	(医療法人 輝秀会 くらとみ眼科医院 理事長)
副理事長	井上 望	(医療法人 菊池眼科 理事長)
	八谷 克幸	(佐賀県会議員)
理 事	橘 光幸	(橘商事 代表)
監 事	末永 博義	(末永司法書士事務所 代表)
	峰 悦男	(峰公認会計士事務所 代表)

(順不同)

POSA 名誉会員

名誉会員	山口 祥義	(佐賀県知事)
	中尾 清一郎	(佐賀新聞社 社長)

(順不同)

POSA 一般会員

芥川 泰生	大島 博	高橋 良太	原 康夫	吉田 幸代
(株)アステム	各務 晃子	瀧本 峰洋	秀島 正博	与那嶺 豊
東 キヨ子	(株)神埼薬局	田中 清隆	福島 武	
伊崎 祐介	倉富 亜由美	照屋 邦子	堀 秀行	
井上 香奈子	柴田 一馬	富永 琴里	松本 博	
井上 麻記	杉戸 正和	富永 杏花	(株)毛利工務店	
今村 玲南	砂原 伸彦	西本 千紘	森岡 千鶴子	
宇野 光次	世戸 憲男	(株)日本点眼	八木 隆明	
江崎 円香	参天製薬(株)	沼田 公子	安谷 久美子	
枝光 理	高橋 雄二	原 康夫	山口 克宏	

(敬称略・五十音順)

POSA (ポサ) 規約 (一部抜粋)

(目的)

第3条 本会は、眼科衛生学に関する知識の普及及び白内障・緑内障に対する研究・ボランティア活動を行い、視覚障害者の減少に寄与することを目的とする。

(入会金及び会費)

第7条 正会員は、入会金壱万円、及び年会費壱万円を納入しなければならない。

POSA 一般会員入会を随時受け付けております。ご連絡下さい。(POSA 事務局 TEL:0952-52-8841 田中)

ALL THAT IS NOT SHARED IS LOST



手術後の患者さん



手術後の患者さん

ALL THAT IS NOT SHARED IS LOST



手術後の患者さん

Project Operation Sight for All

POSA 事務局

〒842-0002 佐賀県神埼市神埼町田道ヶ里 2435-1

医療法人 輝秀会 くらとみ眼科医院

TEL : 0952-52-8841 FAX : 0952-52-8685

ホームページアドレス <http://www.posaoffice.net/>

E-mail アドレス posa@train.ocn.ne.jp

2018 年 10 月発行